

小規模多機能型居宅介護 サービス評価 【様式集】

- ◆自己評価
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 長谷川・正藤・松原・平井・篠崎・甚佐
下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10人	2人	人	12人

前回の改善計画	・職員の勤務形態が異なり、全員参加のミーティングの実施は難しい為、参加できない職員にも書面と口頭説明を行い情報共有を行なっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・訪問サービスなどで出席できない職員もいるが、毎日の昼礼は継続し情報発信、書面での説明も行っている。しかし、理解度にバラつきがあり対応が統一されていないことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		11	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		11	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		12			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		10	2		12

できている点	・利用開始前に本人家族の思いを聴き取りながら、在宅生活を継続する為に必要なサービスを提案し、対応している。本人の様子を職員間で共有し、通い時には座席の配慮をするなどして安心して過ごせる環境づくりに努めた。 ・通い時の様子を連絡帳に記入したり、送迎時に家族に報告している。
--------	--

できていない点	・利用開始前に発信された情報についての理解度にバラつきがあり、対応が統一されていないことがあった。 ・気づきは発信していても、自ら情報を収集しようとする意識が弱い部分がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・情報収集する意識を高める為に、各自でアセスメントシートを活用。 各自で得た情報を記入していき、職員間で情報共有し対応の統一に努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 長谷川・正藤・松原・平井・篠崎・甚佐
下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	8人	人	12人

前回の改善計画
・ケアの内容の変更が必要になった場合などには、ケアマネジャーやリーダーがまず担当職員にも意見を聞き、担当である事の意識付けを一緒に考えていく。利用者について深く理解したうえで「～したい」の実現に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者の状態の変化でケアの内容の変更が必要な時には、職員間で意見交換を行ったが担当職員の役割が明確にならなかった。 ・聞き出した「～したい」を共有しやすいように貼り出し、実現できたものもあったが、全職員参加の取り組みとはならなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		8	4		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	5		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	8		12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	7		12

できている点
・聞き出した「～したい」を付箋に書き出し共有、実現できたものもあった。 ・「元気に過ごしたい」など健康面に対しての目標については、体操を行ったり、過剰介護にならないようできる事を奪わないケアに努めている。

できていない点
・貼りだした「～したい」の実現に向けての話し合いが不十分で、そのままになっているものがあった。 ・自分の思いを上手く表現できない利用者に対して、上手く本人の思いを引き出せなかった。

次回までの具体的な改善計画
・毎月、貼りだした「～したい」についてミーティングで共有。 1つでも多くの「～したい」を実現するためのプロセスを具体的にし、担当職員を中心に計画していく。 ・これまでの生活歴や家族からの情報を参考にしながら、本人に関心を持って関わりを深めていく。

3. 日常生活の支援

メンバー 長谷川・正藤・松原・平井・篠崎・甚佐
下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	3人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・何故そうしたケアを行うのか根拠を明確にして共有し、統一したケアに繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の残存能力の理解が不十分で、身体の状態の変化に合わせた介助ができていなかった事があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	9		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		12			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7	5		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	11			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	10	1		12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者日々の体調面や、本人から聞き取った言語などから読み取った精神面での変化について、共有し配慮している。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らしについて情報共有が不十分なことがあった。 ・基礎的な介護は行えていたが、利用者の状態の変化に合わせた細かなケアの見直しが出来ていないことがあった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で利用者の状態に合わせた介助が行えているかを確認し合い、統一したケアが行えるようになる。 ・毎月のモニタリングで、現状に見合ったケアが行えているかの振り返りを行い、必要に応じて改善していく。
---------------	--

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 長谷川・正藤・松原・平井・篠崎・甚佐
下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	7人	1人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族からこれまでの生活スタイルや地域との関わりについて聞き取りを行い支援に繋げていく。 地域の資源とは何かを具体的に例をあげ、どのように支援に活かしていくかを話し合っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族からの思いや困りごとを聞き取り、サービスに反映することが出来た。 地域ケア会議に参加し、地域住民と一緒に問題解決に向けて話し合う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	5	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	5	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	7	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			9	2	12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 日々送迎や訪問時に、地域住民への挨拶を行い良好な関係性を築けるように努めている。 本人と家族の関係性についての配慮は出来ていた。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 本人と地域との関係性の理解が不十分だった。 本人から知り得た地域の資源を支援に活かせないこともあった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、本人と地域住民が良好な関係性を築けるように努め、本人に必要な地域の資源は何かを把握し支援に活かしていく。
---------------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	4人	7人	1人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の資源」とは何かを職員が理解できるように具体的な例を挙げ、本人の生活に必要なものを取り入れて在宅生活を支えていく。 ・「小規模多機能」とはどのようなサービスなのか、また、本人を支えるためにできることについて勉強会を開催し再確認していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて地域の資源を支援に活かしたこともあったが、職員の理解を深めるための勉強会は開催出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		7	4	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		12			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	11			12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や家族のニーズに応じて、小規模のサービスを柔軟に組み合わせて調整を行い支援することが出来た ・急なサービスの追加や変更にも対応できた。 ・毎日の昼礼でその日の気付きを共有できている。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源の具体例を挙げての勉強会が出来ておらず、理解が不十分だった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本人を取り巻く地域の全ての物が資源である事を理解できるように、改めて具体例を挙げ、支援に取り入れていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 長谷川・正藤・松原・平井・篠崎・甚佐
下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	7人	2人	12人

前回の改善計画

- 地域で開催される行事に関して担当者を決め、参加出来るように具体的に計画を進めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 毎月開催される地域のサロンに職員が交代で出向き、体操や脳トレを行い地域住民との交流に努めた。
- 他、地域イベントに関しては、事前の情報収集、職員の人員体制の調整のなどの準備不足で参加出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		3	6	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	6	3	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		4	6	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			9	3	12

できている点

- その他のサービス機関と情報共有し、在宅生活が継続出来るよう支援に繋げた。(退院カンファレンス、地域ケア会議など)
- 地域の文化祭や他施設のイベントに利用者の作品を展示することが出来た。

できていない点

- 事業所での地域参加型のイベントを再開していなかった為、地域の方が訪れる機会が少なかった。

次回までの具体的な改善計画

- コロナ前に開催していた「きらり祭」などを復活させ、地域参加型のイベントを計画していき、住民との交流の機会を設けていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)

7. 運営

メンバー 長谷川・正藤・松原・平井・篠崎・甚佐
下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3人	8人	1人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 現場で行われた好事例や気付きの声「アイデア提案」の参画だということを職員が意識し書く習慣をつける。 月1回の小規模ミーティングで全員がアイデア提案を提出できるように事前に用紙を配布し提出する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の立場になって自宅の環境を整えたアイデアによって、利用者が混乱する事なく自宅で過ごせ、ご家族からも感謝の声が頂けた事例があった。 日頃から、様々な気付きを共有し改善策を話し合い実行できていても、アイデア提案に参画する意識に繋がらなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		7	4	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		10	1	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	5		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		7	5		12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時などに頂いた家族からの意見を職員間で共有し、必要に応じて話し合い改善出来ている。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 徐々に地域の行事は再開されているが、職員体制の調整がつかず参加出来なかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> コロナ以前のように家族参加型のイベントを開催し、家族との交流の機会を設け、意見や要望の聞き取り、運営に反映させていく。 運営推進会議を通して、地域の困りごとや事業所への意見などを聞き取り、改善に向けて取り組んでいく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月24日(13:00~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 長谷川・正藤・松原・平井・篠崎・甚佐
下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	4人	人	12人

前回の改善計画
・発生した事故ヒヤリの再発防止策が有効に活かされているか、定期的に振り返り見直しを行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・事故やヒヤリを共有し、再発防止策をその都度話し合っているが、対策を活かせず同じような事故を繰り返す事があった。定期的な振り返りが不十分だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	6	2	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	4	1	12
③	地域連絡会に参加していますか		1	7	4	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		9	2	1	12

できている点
・職員全員参加の研修を実施し、職員のスキルアップ、サービスの質の向上を目指している。 ・ZOOM研修を含め、勤務調整が可能な場合は研修に参加出来ている。

できていない点
・リスクマネジメントに関して、職員間で意識や理解力に差があり、対策を活かせず同じような事故を繰り返す事があった。

次回までの具体的な改善計画
・事故ヒヤリハットの再発防止策について、何故そうするのかの理由付けを明らかにして、職員全員が理解出来るようにする。改善策が有効に活かされているか、毎月振り返りを行い事故未然防止への意識を高めていく。

9. 人権・プライバシー

メンバー 長谷川・正藤・松原・平井・篠崎・甚佐
下田・片山・上野・高橋・牧野・溜

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	12人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 委員会に参加した職員が資料を回覧し、情報共有できたかを確認していく。 ミーティングで不適切なケア（グレーゾーン）について学び、現場での改善すべき点を話し合い適切なケアに繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束や虐待について、全職員が映像研修を受講し、自分の日頃の対応について振り返ることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	9			12
②	虐待は行われていない	5	7			12
③	プライバシーが守られている	4	8			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している		2	7	3	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	11			12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な対応やグレーゾーンと思われる対応については、その都度職員間で指摘し合う事が出来ている。 接遇について適切な言葉遣いが出来ているかなど、自身の振り返りを行った。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度については対象となる利用者がいなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 無意識のうちに不適切な対応になっていないか、プライバシーの配慮は出来ているか具体的な例を挙げて振り返りを行っていく。
---------------	--